

令和4年度第11回天童市教育委員会について（報告）

日 時 令和5年2月21日（火）午前10時から11時50分まで
場 所 天童市教育委員会 第1会議室
出席委員 相澤一彦教育長、工藤昭広委員、村山晴香委員、松村昌子委員、
大内あゆ子委員
出席者 武田文敏教育次長兼教育総務課長、鎌田さとみ学校教育課長、
矢萩茂生涯学習課長、大沼敦学校給食センター所長、
事務局（教育総務課職員）

議 事

議第20号 令和4年度教育委員会小中学校優秀児童・生徒褒賞について
議第21号 令和4年度教育委員会所管の3月補正予算（第9号）について
議第22号 令和5年度教育委員会所管の当初予算について
議第23号 天童市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
議第24号 天童市地域交流・活性化センターの設置及び管理に関する条例の一部
改正について
議第25号 天童市立高原の里交流施設の設置及び管理に関する条例の一部改正に
ついて

報 告

（1）学校教育課

ア 天童市いじめ問題対策連絡協議会の開催内容について

各課からの連絡

（1）教育総務課

・小中学校卒業式・入学式について

（2）学校教育課

・小中学校での新型コロナ・インフルエンザ感染状況について
・県立高校の入学試験について
・小中学校の卒業式対応について

（3）生涯学習課

・イバラトミヨ生息地保護連絡協議会の開催内容について
・学者連携融合推進協議会の開催について

（4）学校給食センター

・卒業お祝い弁当給食について

<教育長あいさつ>

おはようございます。先日ある会議で、本市の人口について報告がありました。若い人が他市に移って家を建てている状況が見られるようです。色んな要因があり土地が安い、また、子育て支援のいろんな政策は、他市町でもいろいろやっておりますがなくなってきたようです。教育においても、今後、児童生徒数を含めまちづくりの観点でどうしていくかを考える必要があります。

最後の校長会・教頭会でお話ししたことについて、常に具体的な手法を描き、抽象的な言葉で評価しないようにとお話しました。日常の一つ一つを大事に取り組むことが基本であり、挨拶も心を込めた挨拶、授業も子供たちが楽しい授業したかどうか、行事などこれまで積み上げたものを大事にしていくことです。新型コロナ後には、元に戻す作業が必要ですが、全て元どおりにする必要はなく、どういう意味があったのかを検証する必要があります。なくて楽だったから、なくてもいいとにならないようにしなくてはなりません。

次に、おおらかに伸びやかに仕事をするを求めがちですが、気を掛けることを大事にして欲しいとお話しました。どの学校にも必ず課題はあり、気に掛けることが大事なのです。また、他の職員に求めず、教頭が自ら始めてみるのが大事だと伝えました。

3点目に、年度総括と次年度の準備をしっかりやること、目指すべきことは何か主体的な見方を持って、自分も評価し校長と共有する。それから、最も重要なところは何かを絞り、改善点を具体化してほしいとお話しました。

最後に、対面で言葉を交わすことの重要さについてお話をしました。新型コロナ対策も大変重要ですが、面と向かって話ができる機会を設け、学校の色々な情報を全体で共有してほしいと伝えました。よろしくお願いいたします。

<議 事>

議第20号 令和4年度教育委員会小中学校優秀児童・生徒褒賞について

<決定する>

審議経過

工藤委員：新型コロナの影響もあると思うが、小学校で児童数を考えた場合、大規模校から少ないのはなぜか。

教育総務課長補佐：中学校は、部活動で情報をつかみやすいが、小学校は、個人的に活動をしているので、保護者からの情報が集まりにくいのではないか。

< 議 事 >

議第21号 令和4年度教育委員会所管の3月補正予算（第9号）について

<決定する>

審議経過

大内委員：電話料について、新型コロナになった子どもたちに担任の先生がLINEとかではなく電話で話すのか。子どもの生の声を聴いたり、しっかりと対応していることだと思う。

教育次長：学校から家庭に連絡するだけでなく、関係機関にも連絡する必要がある、電話料が増えた。LINEなど使用しているかは確認していなかった。

学校教育課長：体調の様子とか授業内容であるとかを本人や保護者と電話でまめにやりとりをしている。

工藤委員：電話で生の声を聴くことは非常に大事なことで、学校に電話回線数が少ない中、しっかり学校で対応できて素晴らしいと感じた。

松村委員：家庭で共働きが増え、なかなか電話が繋がらないこともあり難しい面もある。学校が工夫してしっかりと連絡が取れるようにしているのかと思う。タブレットも利活用し、しっかりと児童生徒、保護者、先生との間で連絡が取れていると感じる。若い方々は、メールでやり取りする傾向もあるので、手段をバランスよく選べば先生の負担も軽減されるのかと思う。

学校教育課長：休日に新型コロナに感染した場合、学校の緊急メールがあるので、利用してほしい。状況に応じて電話、メールなどを使い分けしていく。

< 議 事 >

議第22号 令和5年度教育委員会所管の当初予算について

<決定する>

審議経過

大内委員：天のわらべに掲載された小学校支援員についてお伺いしたい。

学校教育課長：支援員には、障害のあるなしに関わらず、みんな一緒に学ぶことを重視してもらうよう指導していく。

大内委員：明治大学の天童市連携事業に参加した。やはり対面での講義はとてもよかった。年配の方や女性も多く参加されリモートではない生の良さが出ていた。長岡地域づくり委員会の活動が24年になり見直すこととなった。長岡らしいものと考えているが、市の方からもアドバイスをいただきたい。

生涯学習課長：地域の変化に対応したものに進めていくものだと思う。時代あった委員会になっていけばと思う。必要であれば公民館長、主事に話をしてもらい、それ以外も関わる部分があれば、担当職員を派遣しながら相談を受けたい。

村山委員：中学生向けのパワーアップイングリッシュは、とても楽しみだ。長期休みにALTと触れ合えるのはすごくいいことだと思う。放課後などに、ALTと触れ合える部活動のような活動があればいい。

また、英語のできるのであれば、各教科の部活動があれば楽しい。マールボロウ市の青少年大使の派遣は今年あるか。

学校教育課長：マールボロウ市青少年大使の派遣は、予算化しているので実現できればいい。できなくてもICTを活用してやっていきたい。パワーアップイングリッシュは、長期休暇中のALTを利活用するもの。放課後は、ALTの勤務時間の範囲で各学校の考えの中でできるのかなと思います。

教科の部活動について、難しい面もあるが、やりたい子どもがいればやっていければいい。会議の中で校長方にもお話ししたい。

村山委員：社会教育の推進の中で、子どもの習い事について、英語や算数など公民館で何かやってくれたら保護者は嬉しいと思う。プラザの人気講座はキャンセル待ちで、身近なものや将来を見据えたもの、手元に残るものの講座に人気があるようだ。もちろん話を聴く講座も大切だが、地域にはものづくりや、英語の先生だった方などプロフェッショナルがたくさんいるので、そういった方々をうまく活用できればいい。

生涯学習課長：公民館利用者が減少する中で、裾野を広げる工夫をしている。例えば若い人向けの子育て講座や、女性が活躍するための男性向け料理教室などいろいろ実施している。提案いただいた内容は、公民館でできなくもないが、プラザで実施した方が講師を探すことに長けており、よりいいものができるので公民館と連携してやっていきたいと思う。

松村委員：教職員の資質向上について、多忙な中でしっかり研修会を開いて充実させていること、働き方改革を推進していることは意欲向上につながり非常に大事なことだ。ぜひ推進していただきたい。

学力ジャンプアップ事業の指導力対策推進事業について、保護者などが求める指導力向上はどういうものなのか、先生たちそれぞれが目指すものとは何かなど、各方面からの意見を取り入れてもらいたい。子ども、親、先生、地域、教育委員会が同じ方向性を持つことがすごく重要だ。

学校給食のアレルギー食について、毎日50食対応していることは非常に大変なことだ。工夫していることについてお伺いしたい。

学校給食センター所長：アレルギー食の品目は、乳、卵、乳・卵の3種類に対応している。近年対応食は増加傾向にあり、狭い部屋の中で、食材が飛散しないようにエリア分けして職員2名が専門で対応している。読み上げ確認を何度も行い、間違っただけ配食ならないように対応しております。

工藤委員：一中体育館に熱中症対策として遮熱フィルムの実証実験を行ったというが、子どもたちが一番長く過ごす教室には設置しないのか。

教育次長：全ての教室に貼れば大変効果が上がると思うが、予算確保が難しい。体育館は空調設備がなく、避難所としても指定されているので体育館を優先して行う予定だ。

教育長：教室には、まだカーテンがあるので体育館を優先したということだ。

工藤委員：インクルーシブ支援員の配置について、配置する学校、学級数の予定について伺いたい。

学校教育課長：3校のうち1校は2学級で4人いればいいが、予算は3人なので1校は2学級にまたがって配置するようになる。

教育長：すこやかスクール支援員を複数人配置している学校もあるので、インクルーシブ支援員との協力体制を組んで対応していく。

工藤委員：本市のような、さまざまな支援員を市単独で配置している市町村は、県内にないと思う。新たにインクルーシブ支援員を配置することは、非常に学校ではありがたいことだ。国、県の動きはどうか。

学校教育課長：市ばかりで対応するのではなく、県や国に要望していきながら進めていきたい。

松村委員：学校の中でいろんな支援員がいることを保護者がどこまで理解しているのか、支援員を理解できれば支援員の活用がもっと広がるのではないか。また、保護者との連携が深まり学校経営にも一体感が生まれるのではないか。

< 議 事 >

議第23号 天童市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
＜決定する＞

審議経過

特になし

< 議 事 >

議第24号 天童市地域交流・活性化センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
＜決定する＞

審議経過

特になし

< 議 事 >

議第25号 天童市立高原の里交流施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

＜決定する＞

審議経過

特になし

＜ 報 告 ＞

1 学校教育課 ア 天童市いじめ問題対策連絡協議会の開催内容について

意見等

特になし

教育長：その他意見なし。以上で第11回教育委員会会議を終了します。